

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和4年11月4日
タイトル	田んぼアート2022
水土里レポーター名	水土里ネット西蒲原 萩野忠幸

燕市吉田新保地区において、今年度も田んぼアートが開催されました。新型コロナウイルス感染防止拡大のため事前申込者のみで5月14日に田植え、10月1日に稲刈りイベントが開催されました。田植えイベントには217名、稲刈りイベントには216名の参加がありました。

このイベントは、農業体験を通じて地域の活性化を目指すため、燕市景観作物推進協議会の主催で、地域の水田40aを利用して開催しています。今年の絵柄は「大河津分水通水100周年」です。通水によって豊かに育った大地の恵みを乗せた「宝船」を田んぼにいっぱい描きました。

2007年より続いている田んぼアートも今年で16回目を迎えます。諸般の事情により今年度で最後になり残念ではありますが、長年、関係機関及び関係集落をはじめ多くの方よりご参加、ご協力いただき、このイベントを通じて地域交流ができたと思っております。

今後も農業体験を通じて農業農村をPRしていきたいと思っております。



今年の絵柄



ドローンでの撮影7月13日



田植え作業



稲刈り作業